

3 津波被害想定

津波被害想定においては、二つのレベルの津波を想定する。

○発生頻度は極めて低いものの、甚大な被害をもたらす最大クラスの津波

・住民等の生命を守ることを最優先とし、住民の避難を軸に、とりうる手段を示した総合的な津波対策を確立

○発生頻度は高く、津波高の低いものの大きな被害をもたらす津波

・人命保護に加え、住民財産の保護、地域の経済活動の安定化、効率的な生産拠点の確保の観点から、海岸保全施設を整備

なお、南海トラフにおける巨大地震による津波については、中央防災会議の検討結果を踏まえ、改めて想定を行う。

[太平洋沿岸]

(1) 実施方法

各海域について、想定地震（想定津波）により、巨視的な検討を行い、浸水の影響が大きいと考えられる地区を抽出、詳細な遡上計算を実施した。

(2) 詳細検討地区

- ① 大阪湾沿岸・・・神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市
- ② 淡路島沿岸・・・南あわじ市（福良地区、阿万地区、沼島地区、西淡地区）、
洲本市（市街地区、由良地区、五色地区）、淡路市（津名地区、一宮地区）
- ③ 瀬戸内海沿岸・・・姫路市（飾磨地区）、相生市

(3) 想定津波（想定地震）

海岸線	想定地震	想定規模	備 考
太平洋側	安政南海地震（1854年）	M8.4	安政南海地震の波源モデルを南海トラフ沿いに移動させ、県内各沿岸域に及ぼす被害が最大となる断層位置を設定
	東南海・南海地震	—	中央防災会議 東南海・南海地震等に関する専門調査会で設定された「東南海・南海地震連動型波源モデル」

(4) 津波シミュレーション結果と津波危険度評価

① 太平洋沿岸地域

ア 神戸地域

第1波ピーク到達時間	地震発生後80～130分
予想最高津波高さ	T.P.+2.00～2.50m
危険度評価	最高2.5mの津波が予想され、海岸施設が機能しなかった場合、一部地域で浸水の可能性がある。海岸施設が機能した場合でも、兵庫区等港湾施設のある一部区域で小規模な浸水の可能性がある。

イ 阪神地域

第1波ビーク到達時間	地震発生後110～140分
予想最高津波高さ	T.P. + 2.90～3.00m
危険度評価	津波高さが最高3.0mとなるが、防潮鉄扉等海岸施設が機能した（閉鎖した）場合は、津波による被害はほとんど受けない。しかし、閉鎖遅延等で機能しない場合は、広い範囲で浸水被害が出る可能性がある。

ウ 東播磨・中播磨・西播磨地域

第1波ビーク到達時間	地震発生後（東）80～130分 （中・西）110～140分
予想最高津波高さ	（東）T.P. + 1.80～2.25m （西）T.P. + 1.50～2.60m
危険度評価	最高2.6mの津波が予想されるものの、その他の地域に比べ津波高さが全体的に小さく、浸水の可能性は低い。

エ 淡路地域

第1波ビーク到達時間 (水位50cm上昇時間)	地震発生後30～93分
予想最高津波高さ	T.P. + 1.25～5.80m
危険度評価	淡路島南部（旧南淡町）では、津波高さが最高5.8mになり、特に福良地区等においては、広範囲な浸水被害が出る可能性がある。 その他の地域では、一部の小河川などで規模の小さな浸水が予想されるほか、防潮施設が機能しない場合には、堤内地の一部が浸水する可能性がある。

【神戸市】

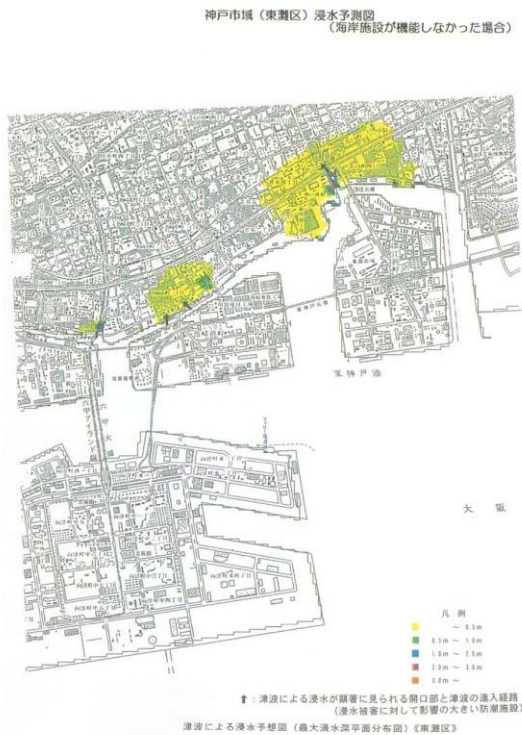
<防潮門扉が全て閉じた場合>

(東灘区～長田区 浸水予測図)



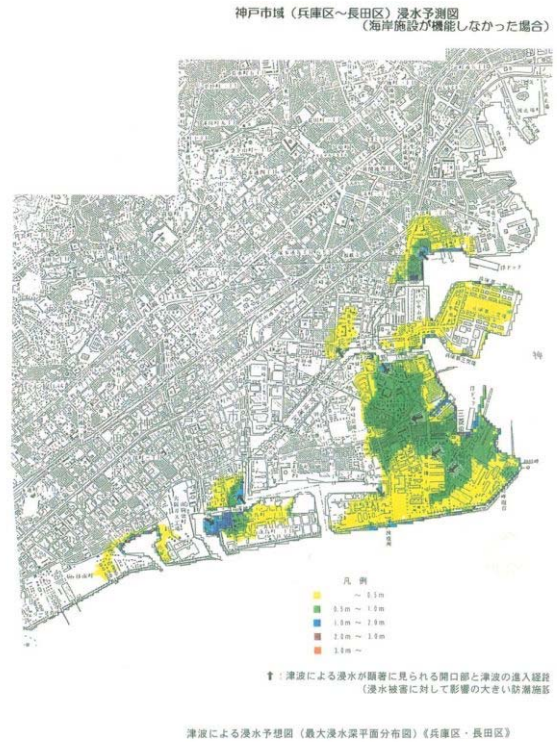
<防潮門扉が全て閉じられなかった場合>

(東灘区 浸水予測図)



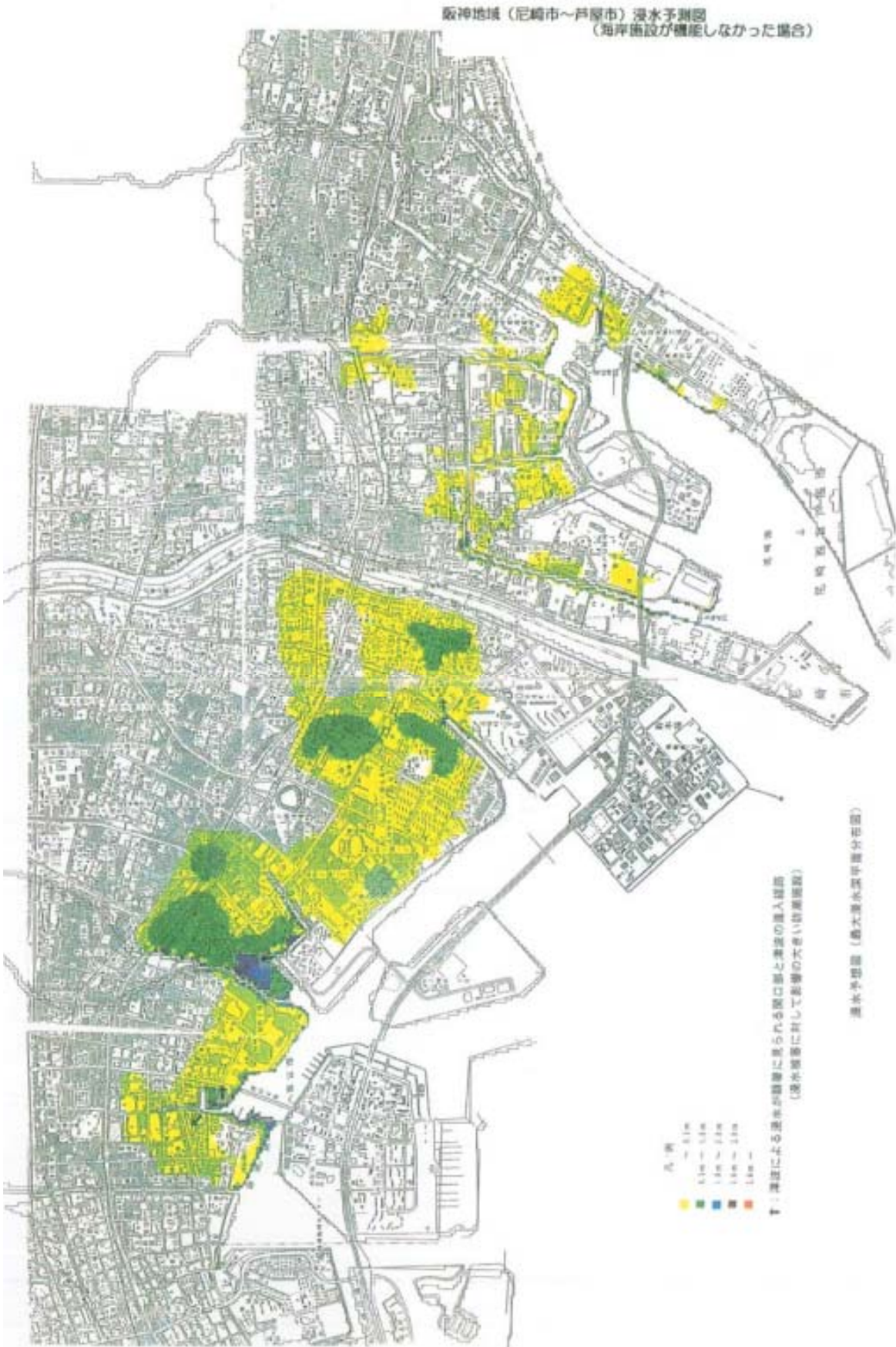
<防潮門扉が全て閉じられなかった場合>

(兵庫区～長田区 浸水予測図)



【尼崎市・西宮市・芦屋市】

<防潮門扉が全て閉じられなかった場合> (阪神地域 浸水予測図)

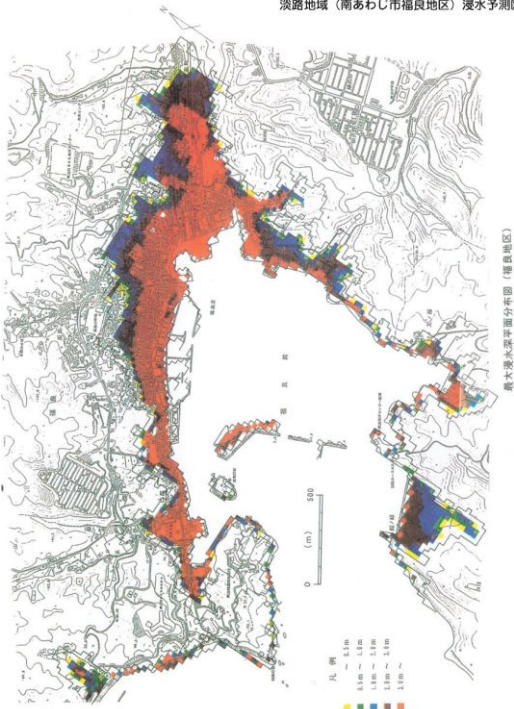


【南あわじ市】

＜防潮門扉が全て閉じた場合＞

(淡路地域 福良地区 浸水予測図)

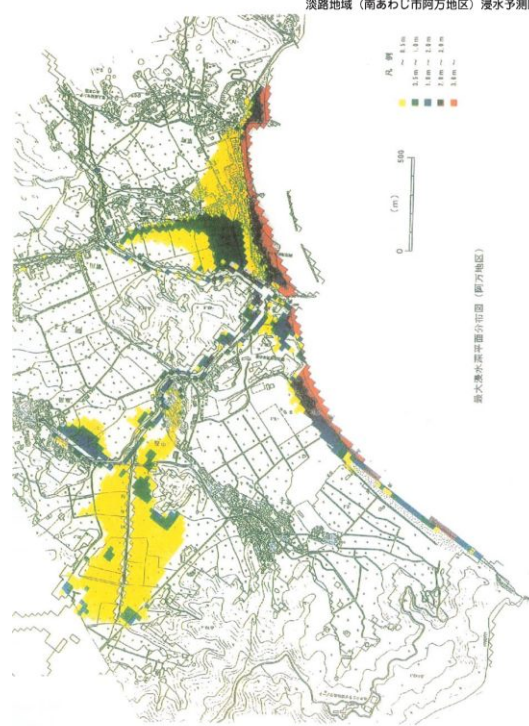
淡路地域 (南あわじ市福良地区) 浸水予測図



＜防潮門扉が全て閉じた場合＞

(淡路地域 阿万地区 浸水予測図)

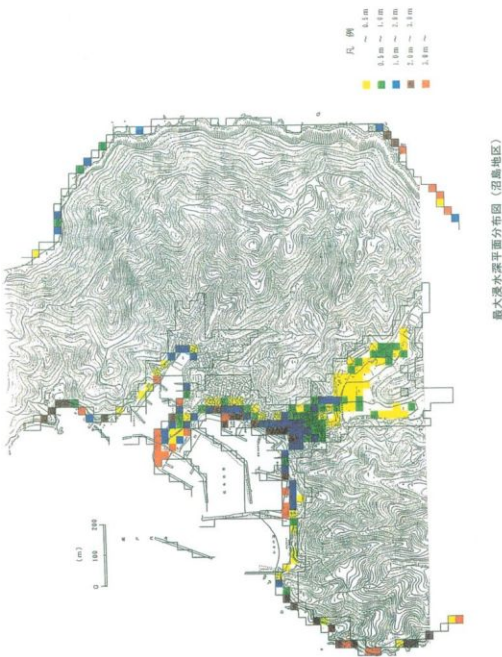
淡路地域 (南あわじ市阿万地区) 浸水予測図



＜防潮門扉が全て閉じた場合＞

(淡路地域 沼島地区 浸水予測図)

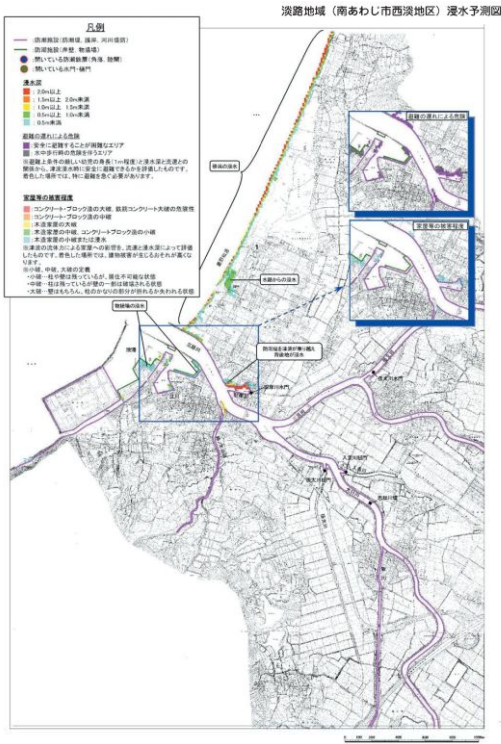
淡路地域 (南あわじ市沼島地区) 浸水予測図



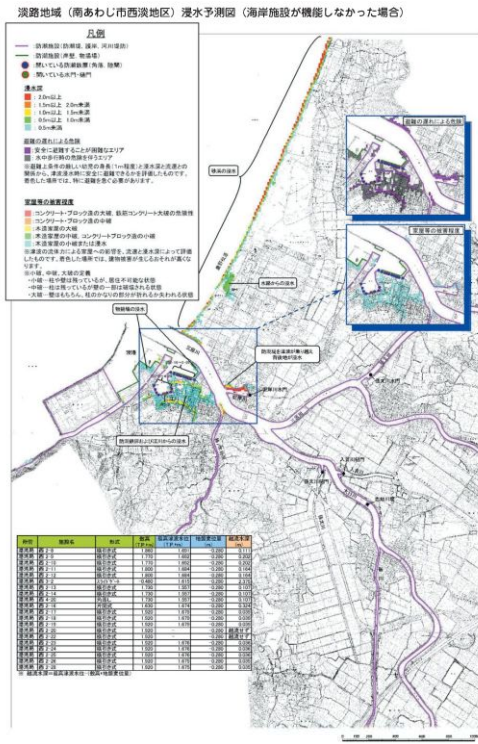
【南あわじ市】

(淡路地域 西淡地区 浸水予測図)

＜防潮門扉が全て閉じた場合＞



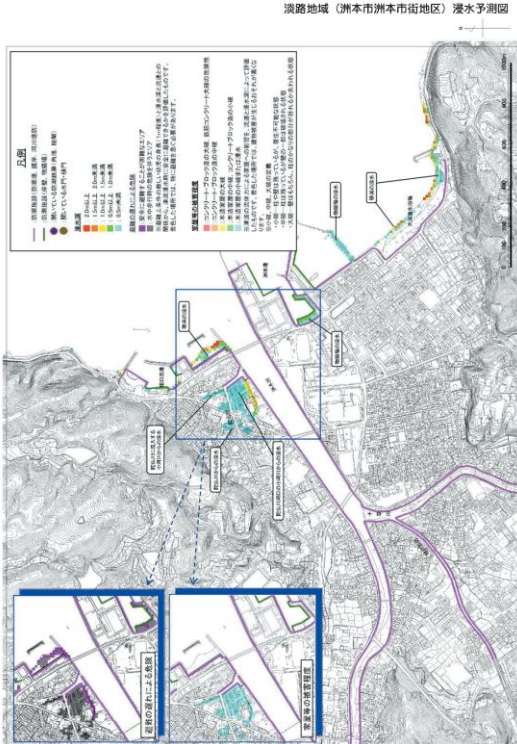
＜防潮門扉が全て閉じられなかった場合＞



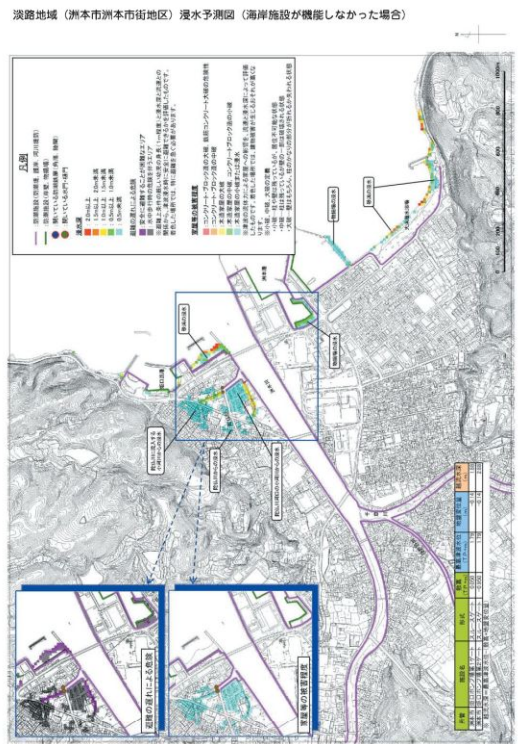
【洲本市】

(淡路地域 洲本市街地区 浸水予測図)

＜防潮門扉が全て閉じた場合＞



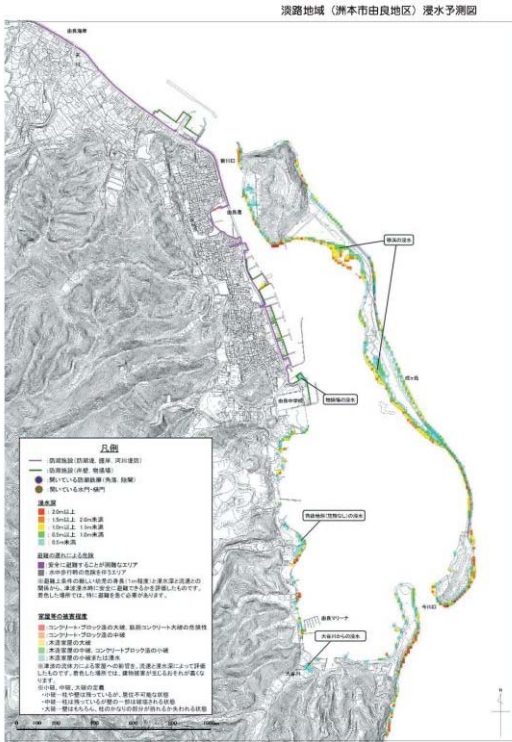
＜防潮門扉が全て閉じられなかった場合＞



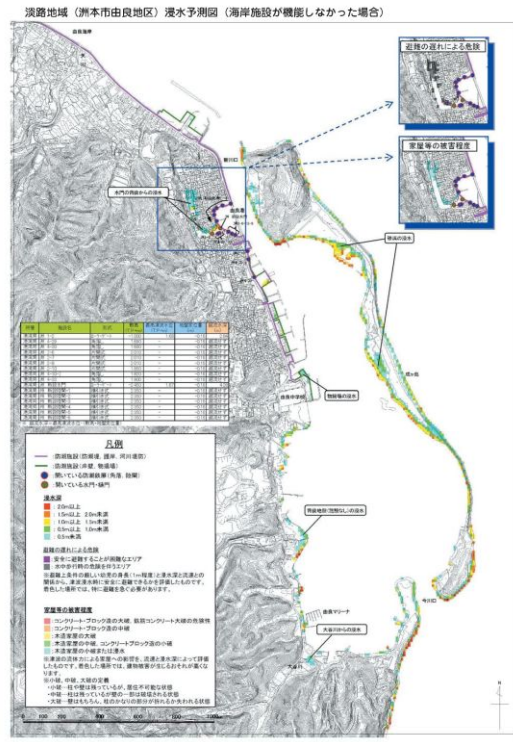
【洲本市】

(淡路地域 由良地区 浸水予測図)

<防潮門扉が全て閉じた場合>

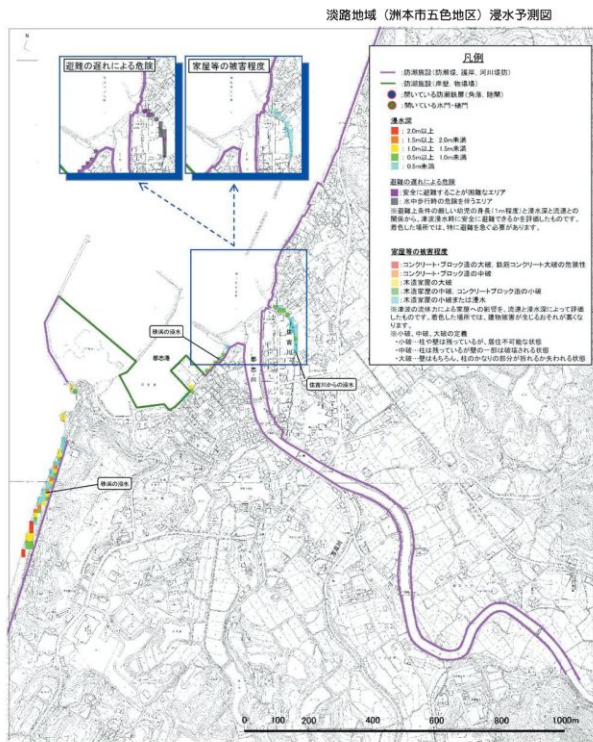


<防潮門扉が全て閉じられなかった場合>

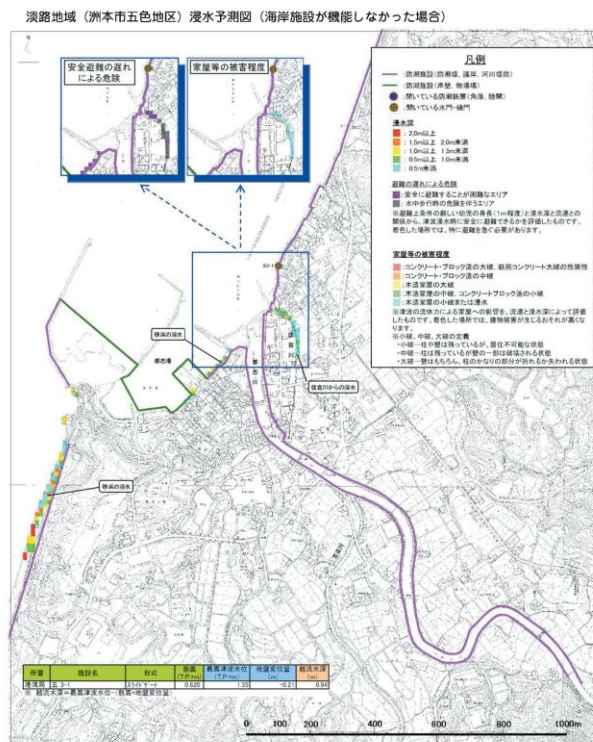


(淡路地域 五色地区 浸水予測図)

<防潮門扉が全て閉じた場合>



<防潮門扉が全て閉じられなかった場合>

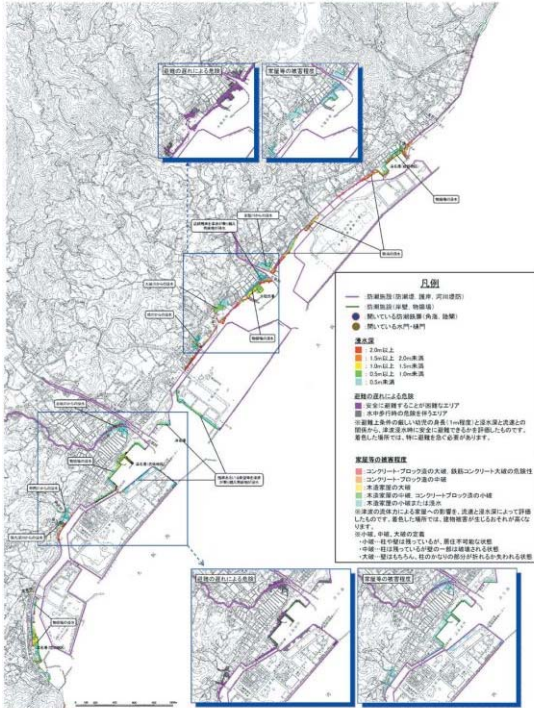


【淡路市】

(淡路地域 津名地区 浸水予測図)

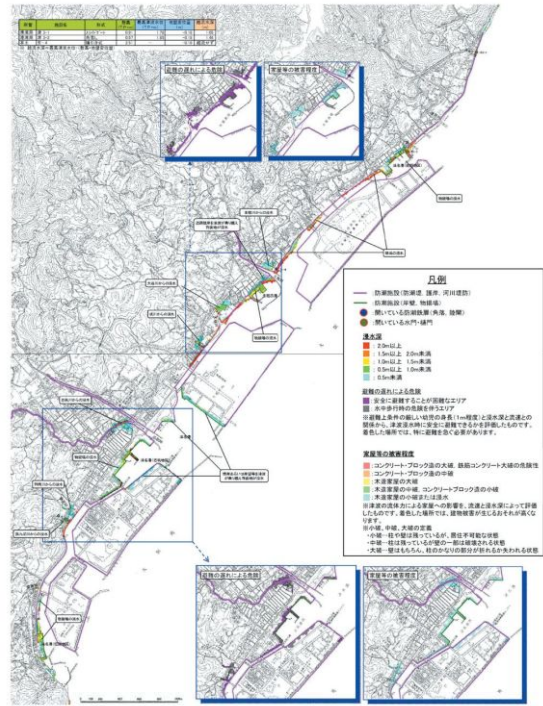
<防潮門扉が全て閉じた場合>

淡路地域(淡路市津名地区) 浸水予測図



<防潮門扉が全て閉じられなかった場合>

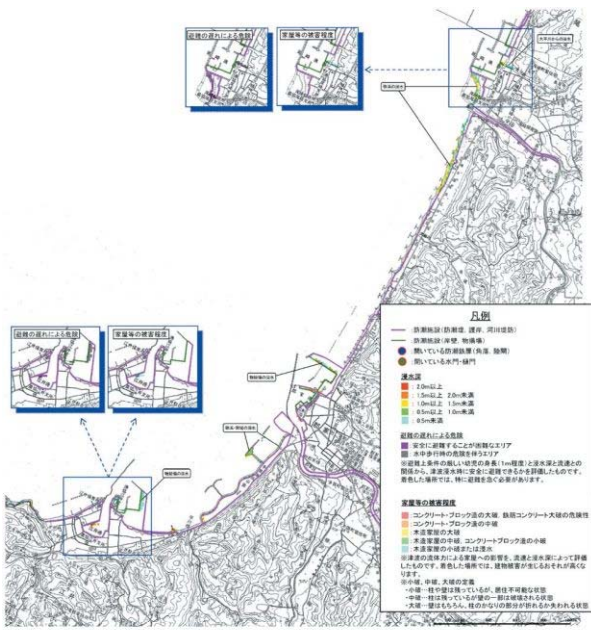
淡路地域(淡路市津名地区) 浸水予測図(海岸施設が機能しなかった場合)



(淡路地域 一宮地区 浸水予測図)

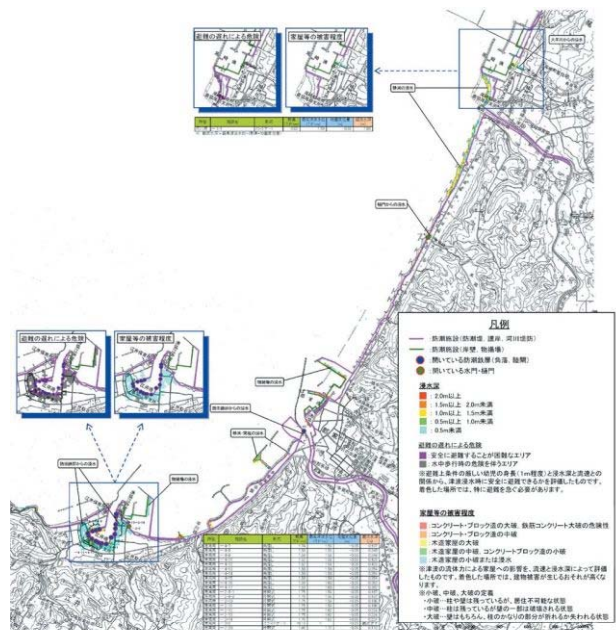
<防潮門扉が全て閉じた場合>

淡路地域(淡路市一宮地区) 浸水予測図



<防潮門扉が全て閉じられなかった場合>

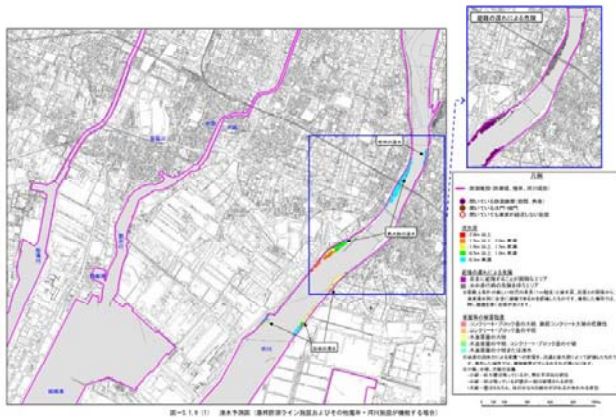
淡路地域(淡路市一宮地区) 浸水予測図(海岸施設が機能しなかった場合)



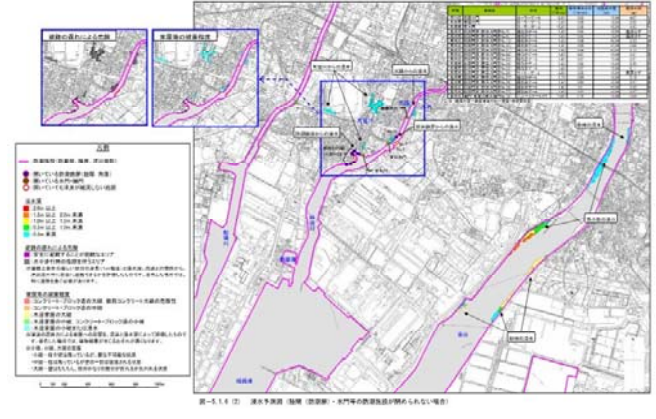
【姫路市】

(飾磨地区 浸水予測図)

<防潮門扉が全て閉じた場合>



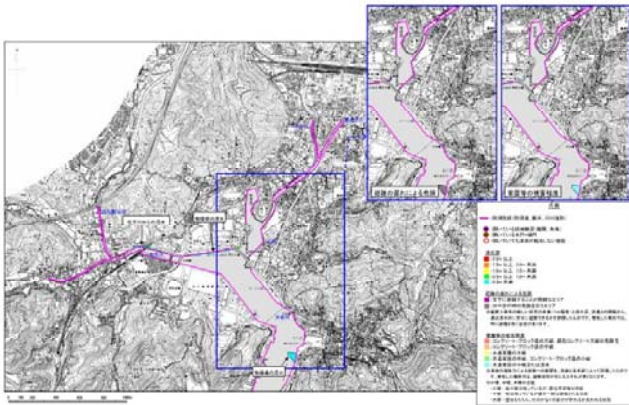
<防潮門扉が全て閉じられなかった場合>



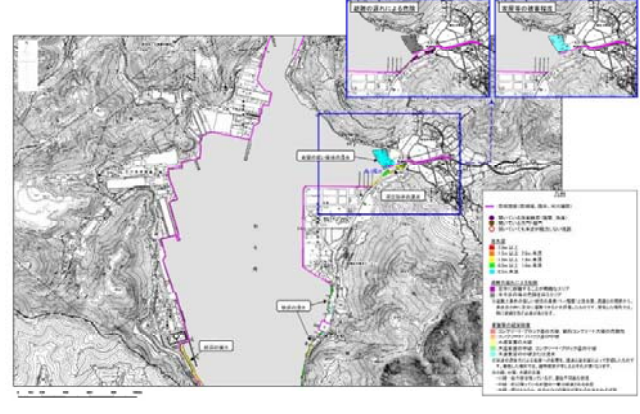
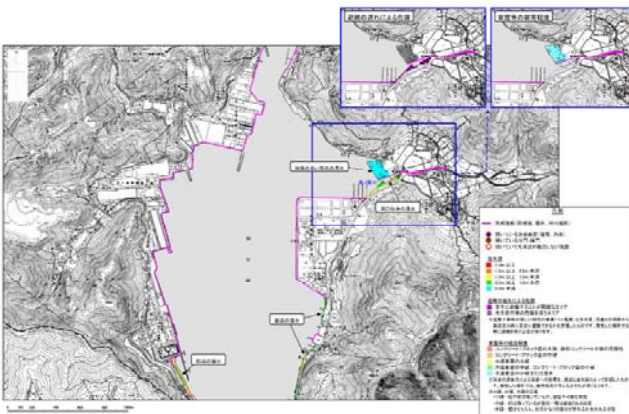
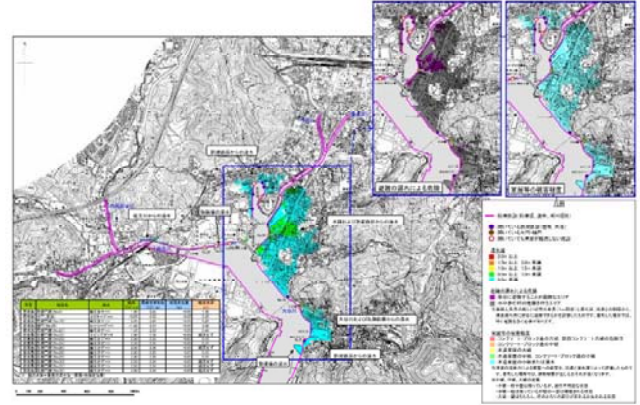
【相生市】

(相生地区 浸水予測図)

<防潮門扉が全て閉じた場合>



<防潮門扉が全て閉じられなかった場合>



[日本海沿岸]

(1) 実施方法

太平洋沿岸と同様に、日本海沿岸の各地域の巨視的検討を行い、浸水の影響の大きいと考えられる地域を抽出し、詳細な遡上計算を実施した。

(2) 詳細検討地区

日本海沿岸・・・豊岡市（円山川沿い）

(3) 想定津波（想定地震）

海岸線	想定地震	想定規模	備 考
日本海側	日本海沿岸沖の活断層による地震	M7.7	大規模な津波が発生する可能性は低いと考えられるが、日本海沿岸沖の活動履歴の無い断層により、津波の発生を仮定

ア 但馬地域

第1波の到達時間	地震発生後15～32分
予想最高津波高さ	T.P. + 1.40～3.60m
危険度評価	最高3.6mの津波が予想され、円山川河口部では小規模な浸水の可能性がある。また、但馬地域の沿岸部は津波が増幅されやすいV字地形が多く、所によっては津波が高くなる可能性がある。ただし、この地域では、過去に大きな被害をもたらした地震津波の事例がないことから、日本海沿岸沖の活断層により津波を伴う地震が発生するとの仮定の下に検討した。そのため、可能性は非常に低いと考えられる。

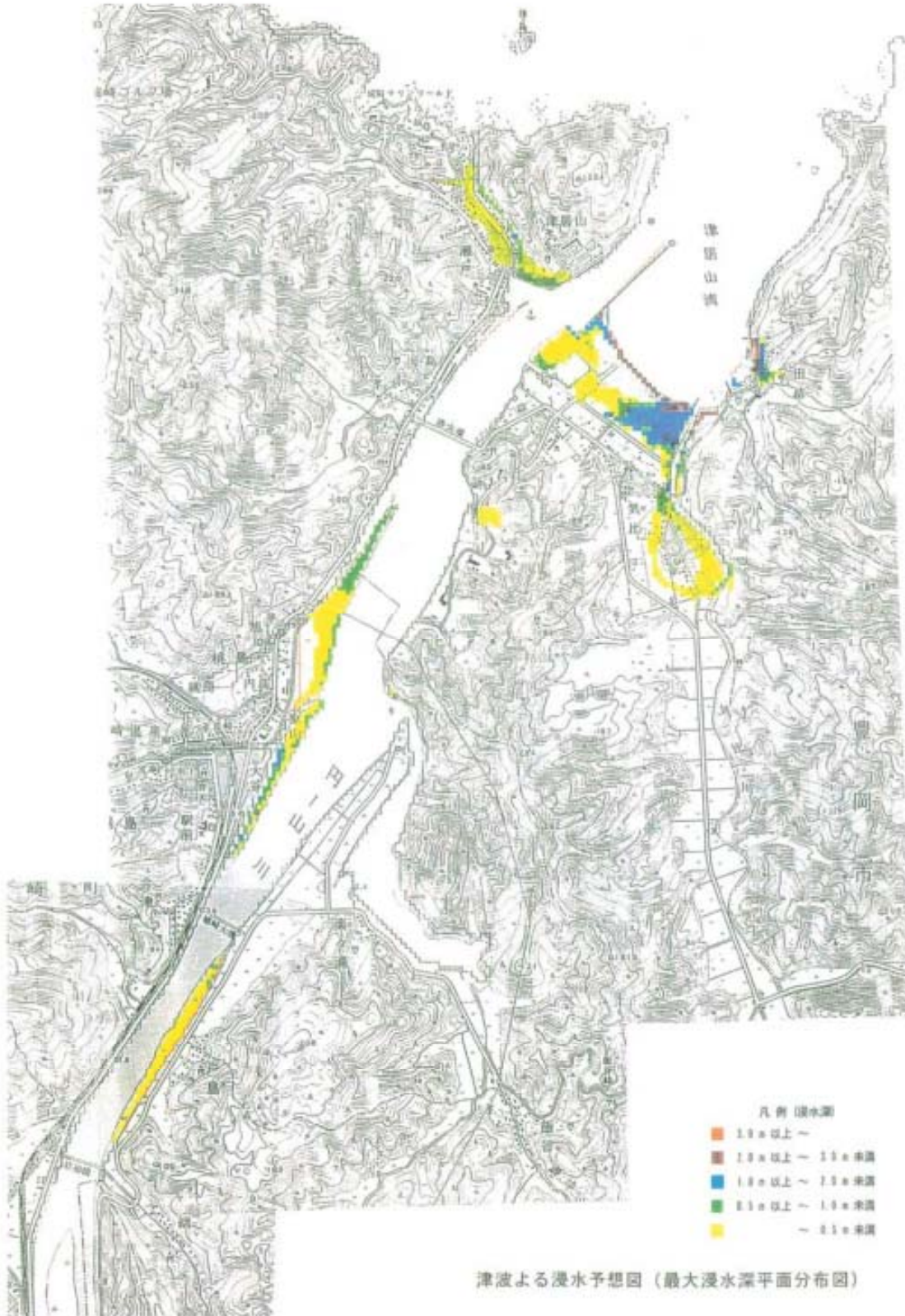
T.P. : 東京湾平均海面

【豊岡市】

(日本海側 浸水予測図)

<防潮門扉が全て閉じた場合>

日本海側（豊岡市、城崎町・円山川沿川）浸水予測図

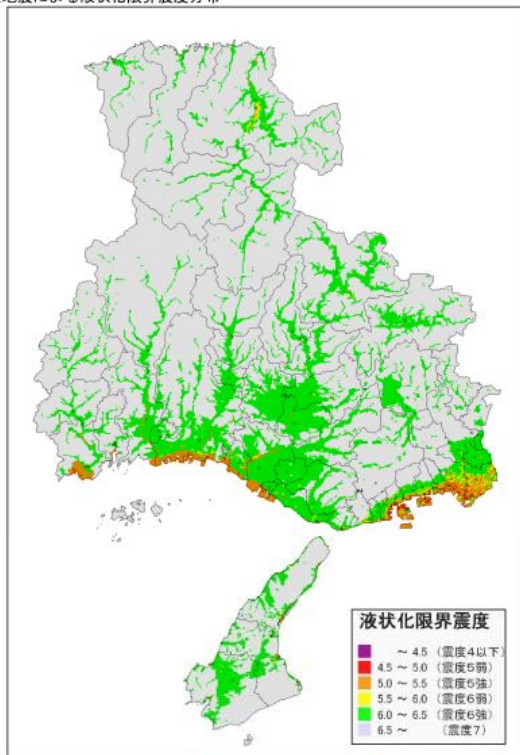


6 液状化被害想定

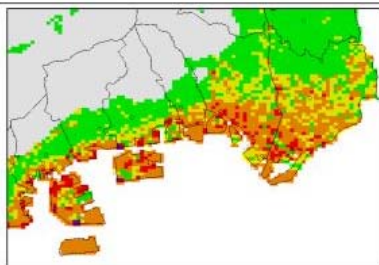
兵庫県における液状化被害を、海溝型地震のように強い揺れが長時間継続する場合と、内陸型地震のように強く揺れても継続時間が短い地震において想定し、各地において液状化が極めて高い確率で起こる震度（液状化限界震度）の分布を示した。

海溝型地震と内陸型地震とで結果は異なり、海溝型地震のほうが液状化が起こりやすく、兵庫県南部地震のような内陸型地震では、震度5強・6弱レベルから危険度の高い液状化領域が広がるが、南海地震のような揺れの継続時間が長い海溝型地震では、比較的揺れの小さい震度5弱で危険度の高い液状化領域が広がる。

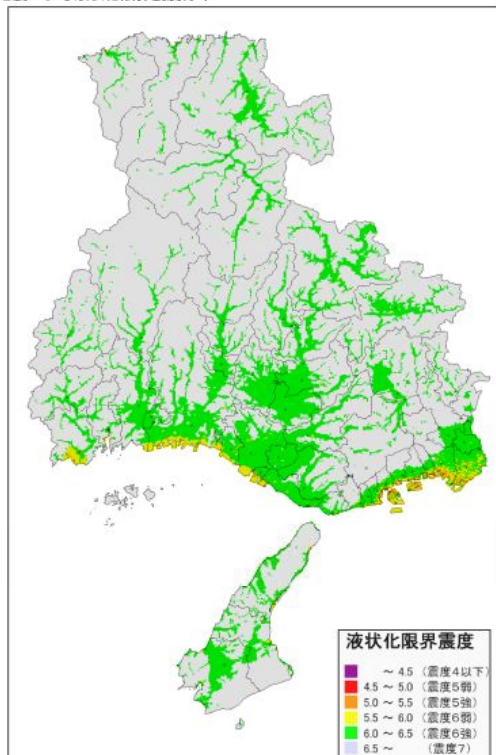
海溝型地震による液状化限界震度分布



(神戸・阪神地区拡大図)



内陸型地震による液状化限界震度分布



(神戸・阪神地区拡大図)

